



1 / 海女の素潜り実演を見学 2 / 海女としても活躍する藤織ジュンさんの進行で行われた、美保純さんと海女さんたちのスペシャルトークショー 3 / YOSAKOIソーランを披露する小袖小学校の児童たち 4 / 大人の手のひらより大きなウニに興味津々！ 5 / 採れたてのウニを買い求める来場者

海女の祭典

AMASUNDAY

8月2日、小袖海女センター
周辺で「AMASUNDAY」が開催され、市内外から約1200人が訪れて海女の素潜り実演を見学。両手にウニを抱えて次々と水面に浮かび上がる海女に拍手を送り、採れたてのウニを堪能しました。

ステージでは、小袖小学校によるYOSAKOIソーランやAMACHEERによるダンスパフォーマンスに加え、美保純さんと地元海女によるトークショーを開催。美保さんからは、ドラマ「あまちゃん」の撮影秘話などが語られ、集まったファンを魅了しました。

また、会場では緋（あま）はんでんを身に着けた地元高校生が「高校生海女クラブ」としてウニの販売や観光客の案内を実施。同クラブの玉川結月さん（久慈翔北高校3年）は「海女は久慈市の魅力のひとつ。活動を通して、観光客の皆さんに久慈市の良いところを広めていけたらうれしいです」と話しました。

machi no wadai

7年ぶり！久慈みなとまつりが開催

7月25日、市営魚市場周辺で久慈みなとまつりが開催され、約2千人が来場。会場では、ステージイベントや飲食販売に加え、ウニやホヤ、久慈育ち琥珀サーモンの販売が行われ、訪れた人たちが新鮮な海の幸を買い求めていました。



1 / みこしを乗せた船がパレードする海上渡御 2 / 湾内で養殖された久慈育ち琥珀サーモン 3 / 開催を祝う餅まき 4 / ウニ・ホヤの販売には長蛇の列

化石発見！

(詳しくはp.17へ)



発見された多丘歯類（上）、真獣類（下）の復元画（小田隆作、画像提供・久慈琥珀博物館）

